

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第6部門第3区分
【発行日】令和6年12月4日(2024.12.4)

【国際公開番号】WO2023/233633
【出願番号】特願2024-524117(P2024-524117)

【国際特許分類】

G 0 6 F 4 0 / 1 6 6 (2 0 2 0 . 0 1)
G 0 6 F 4 0 / 2 1 6 (2 0 2 0 . 0 1)
G 0 6 F 4 0 / 2 3 2 (2 0 2 0 . 0 1)
G 0 6 F 4 0 / 2 5 3 (2 0 2 0 . 0 1)
G 0 6 F 4 0 / 4 4 (2 0 2 0 . 0 1)

10

【F I】

G 0 6 F 4 0 / 1 6 6
G 0 6 F 4 0 / 2 1 6
G 0 6 F 4 0 / 2 3 2
G 0 6 F 4 0 / 2 5 3
G 0 6 F 4 0 / 4 4

【手続補正書】

20

【提出日】令和6年9月25日(2024.9.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

連続する複数の文であって、前後の文に係性を有する前記複数の文のベクトルをそれぞれ算出し、

30

前記複数の文のベクトルを順番に機械学習モデルに入力して訓練することで、前記機械学習モデルにある文のベクトルを入力した際に、前記ある文の次に入力される文のベクトルを予測する前記機械学習モデルを生成し、

第1文のベクトルと、前記第1文に続く第2文のベクトルとを算出し、

前記第1文のベクトルを前記機械学習モデルに入力することで前記第1文に続くと予測される文のベクトルを算出し、前記第2文のベクトルが適正であるか否かを判定する

処理をコンピュータに実行させることを特徴とする情報処理プログラム。

【請求項2】

前記判定する処理は、前記第1文のベクトルを、前記機械学習モデルに入力することで予測されるベクトルと、前記第2文のベクトルとのコサイン類似度を基にして、前記第2文のベクトルが適正であるか否かを判定することを特徴とする請求項1に記載の情報処理プログラム。

40

【請求項3】

前記連続する複数の文は、帰納法または演繹法に基づいて並び順が決定された複数の文であり、前記機械学習モデルを生成する処理は、帰納法または演繹法に基づいて並び順が決定された複数の文のベクトルを順番に機械学習モデルに入力して訓練することを特徴とする請求項2に記載の情報処理プログラム。

【請求項4】

前記第2文のベクトルが不適正であると判定された場合に、前記第1文のベクトルを前記機械学習モデルに入力することで前記第1文に続くと予測される文のベクトルを算出し

50

、算出したベクトルと類似した文を検索し適正な文の候補として提示するために、算出した前記第1文に続く予測される文のベクトルを基にして、適正な文を推薦する処理を更にコンピュータに実行させることを特徴とする請求項1に記載の情報処理プログラム。

【請求項5】

連続する複数の文であって、前後の文に関係性を有する前記複数の文のベクトルをそれぞれ算出し、

前記複数の文のベクトルを順番に機械学習モデルに入力して訓練することで、前記機械学習モデルにある文のベクトルを入力した際に、前記ある文の次に入力される文のベクトルを予測する前記機械学習モデルを生成し、

第1文のベクトルと、前記第1文に続く第2文のベクトルとを算出し、

10

前記第1文のベクトルを前記機械学習モデルに入力することで前記第1文に続く予測される文のベクトルを算出し、前記第2文のベクトルが適正であるか否かを判定する処理をコンピュータが実行することを特徴とする情報処理方法。

【請求項6】

連続する複数の文であって、前後の文に関係性を有する前記複数の文のベクトルをそれぞれ算出し、

前記複数の文のベクトルを順番に機械学習モデルに入力して訓練することで、前記機械学習モデルにある文のベクトルを入力した際に、前記ある文の次に入力される文のベクトルを予測する前記機械学習モデルを生成し、

第1文のベクトルと、前記第1文に続く第2文のベクトルとを算出し、

20

前記第1文のベクトルを前記機械学習モデルに入力することで前記第1文に続く予測される文のベクトルを算出し、前記第2文のベクトルが適正であるか否かを判定する処理を実行する制御部を有することを特徴とする情報処理装置。

30

40

50